

2025 年 12 月 16 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【今週末は、日銀政策決定会合】

今日は、12 月 16 日なので、12 月も月半ばになった。

来週は、クリスマスの週になる。

そういった時期ではあるのだが、今週末には、日銀の政策決定会合が 12 月 18 日、19 日に控えている。

海外の市場参加者の多くは、既にクリスマス相場に入っているのでは、三々五々、相場から撤退して休暇を取る準備をしている、と思われるが、日本の市場参加者は、日銀政策決定会合を見てから、年末年始の準備に入ろう、と考えているのだろう。

今回（12 月 18 日、19 日）の日銀政策決定会合では、政策金利の 0.25% の引き上げが、確実視されている。

もちろん、その発表までは確定ではないのだが、マーケット（金融市場）の読み通りに、0.25% 利上げが実施されるのだろう、と考えます。

日銀の利上げが確実視される状況下で、長期金利の代表的指標である 10 年物国債利回りが、2.00% に迫っています。

利上げが実施されれば、その後の時間が経過すると、10 年物国債利回りが 2.00% を超えていく可能性は高い、と考えます。

さらに、日銀が来年（2026 年）の金融政策で、利上げのスタンスを崩さない姿勢を示唆する可能性も高い、と考えます。

+++++

今回（12 月 18 日、19 日）の日銀政策決定会合が終われば、マーケット（金融市場、外国為替市場など）は、本格的なクリスマス相場の雰囲気になるのだろう、と考えます。

つまり、市場参加者が極端に少なくなり、市場価格がほとんど動かない状況になるのだろう、と考えます。

そういった本格的なクリスマス相場の時に、突発的なニュースが出ると、マーケット（金融市場、外国為替市場など）が、パニック状態になることが多々あります。

だから、本格的なクリスマス相場の時には、ポジションを小さくして、リスクをミニマイズしておくことはセオリーです。

今回（12月18日、19日）の日銀政策決定会合が終了すれば、今年（2025年）のマーケット（金融市場、外国為替市場など）は、ほぼ終了した状態になる、と考えます。

来年（2026年）に向けて、体力を温存して、充電に努める時期（年末年始）に入るのだ、と考えます。

+++++

（2025年12月16日東京時間14：05記述）